

江津本町で濡れ縁の改修工事を行いました

12月18日と19日、建築・電気科3年生の地域課題に取り組む生徒たちが江津本町で「おてつたび[※]」を通じた交流ボランティアに参加しました。今回は「おてつたび」に参加した大学生の皆さんとの交流を図りながら、古民家の濡れ縁の修繕工事を行いました。当日は、風が強く寒い中、思うように作業が進まず完成することはできませんでしたが、大学の授業や出身地の話などを聞くことができました。建築を学ぶ大学生も現場ははじめてで、工業高校の施設に興味を示し、生徒の動きに感心していました。



※「おてつたび」とは

日本各地の素敵な地域へ行く人が増えて欲しいという想いから生まれたサービスであり、地域の困りごとをお手伝いする事により報酬を得ながら旅行をする事が可能なため、行きたかった地域に行く際のボトルネックになりがちな旅費を軽減する事が可能な点が特徴です。また、お手伝いを通じて地域の方と関係性ができ再び同じ地域へ訪れる参加者も増えており、地域のファン（関係人口）が創出されています。（おてつたび HP より）